





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：藤澤健二 副会長：伊澤和男 幹事：多田浩之 公共イメージ向上委員長：三澤耕太



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 RI会長
 ホルガー・クナーク
 <ドイツ>



第1571回例会 令和3年3月2日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 平澤理ソングリーダー



■ 会長談話 小川秋實 第28年度会長



働き方改革が義務化されました。これは、近い将来、労働する人口が減るので、効率よく成果があがるように労働のあり方を変えようというものです。カルビーのCEO会長の松本晃氏は、大胆な働き方改革をして、9年間で売上げを84%増やし、営業利益も7倍に増やしました。具体的な改革内容を紹介します。

企業経営は、すべての利害関係者を喜ばせなければなりません。利害関係者とは、第一は取引先、第二が従業員、第三が地域社会、最後が株主です。働き方改革は、長時間労働をなくすことだけではなく、働きながら、勉強して、余暇を楽しむこと。すなわち、生き方を変えることです。社員にはワクワクする仕事をしてもらおう。それには権限を与え、任せることです。

ガバナンスを徹底するため、取締役は、会長・社長を除き、執行役員に専念させ、会長・社長と社外から5人の計7人を取締役にしました。部下に権限を移譲して、プロジェクトを任かせたので、稟議書は廃止。会議は、月1回の取締役会と経営委員会以外は、すべて廃止。役員個室・個人席は廃止。出社するとコンピューターがその日の席を決めるようにしました。「〇〇部長」とか、「〇〇課長」とか役職名で呼ばず、呼称はすべて「〇〇さん」。仕事が終わったら早く帰り、学ぶ場、遊ぶ場を積極的に創るようにしました。給与は、恥ずかしくない基本給に、プラス成果報酬とし、社員の平均年収は723万円、生涯収入は2億6千万円でした。

「多様性こそカルビー成長の力」と宣言。2児を持つ女性を中日本事業本部長に任命しました。この本部は、職員830人、売上げ460億円の組織です。唯一の業務命令は、「4時になったら帰宅しなさい」。この女性の働き方を、よき社員の基準としました。「2030」は、2020年までに指導的地位に占める女性の比率を30%にするという政府の目標でした。カルビーは、「2030一番乗り」を目指しました（2018年に26.4%、社外取締役5人のうち2人が女性、1人が外国人。執行役員半数弱が女性）。

医療機関も働き方改革をしなければなりません。このような大胆な改革は直には難しいと感じます。しかし、大いに参考になります。

■ 慶 祝 3月誕生日祝い

・下井達典会員 ・宮澤豊和会員 ・吉原弘明会員 ・馬場秀則会員

■ 幹事報告 多田浩之幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・2月27日（土）地区インターアクト委員会・顧問教師連絡会の報告 井上修地区IA委員



2月27日の土曜日14:00より一時間半程行われました。下伊那農業、伊那西高校、東海大諏訪高校、松商学園高等学校、南安曇農業、長野女子高校、長野文化学園の7校の参加。この4月の地区協議会と7月の地区大会に向けての練習オンライン会議でした。マイクの不備やカメラの映像度等、諸般問題が見つかり改善して行く必要があります。殊更、7月の地区大会は伊那西高校がホスト校であり、充実した機器が必要と思えました。地区への申請を行います。

・「ロータリーの友」3月号紹介 田中真人会員



3月13日は世界ローターアクトの日ということで、会長メッセージはローターアクトクラブのことについて書かれています。会長はローターアクトは私達の一部であり同じような存在なので対等の存在として見ましょとあります。そのローターアクターの取り組みが14ページからあります。コロナ禍らしくマスクを作製したりクラウドファンディングやオンライン会議、動画制作が紹介されていますが若い人たちらしい考え方で活動しているなあと読んで感じました。

7ページからは、3月は水と衛生月間ということで水について考える特集が組まれています。日本では水と安全はタダという意識がまだまだ残っている実態があるようですが、世界で水道水をそのまま飲めるのは日本も含めてわずか12カ国なので、日本の水のありがたみを改めて実感ましょとあります。その中で安全できれいな水を考える各RCの取り組みがあります。また環境省で実施している名水百選の選抜総選挙で観光地部門と景観部門に安曇野と松本が上位入賞しているので、長野県は水が良いのを実感しました。

22ページからは今月で東日本大震災から10年ということで今思うことと題して、被災地のロータリークラブの活動や、阪神大震災を経験したクラブが思うこと、また関東大震災が発生した当時のロータリーのことが書かれています。

30ページからはガバナーのロータリー・モメントと題して各ガバナーの視点がありますが、32ページに上田西RCの成田ガバナーの視点があります。成田ガバナーは2013年に訪れた英国の公園にあったロータリーのロゴマークを見たことで、異国でロータリーを考え直す機会になったということです。

縦組みの4ページに企業による共助「業助」と題して、災害に備えるために企業がすべきこととして長岡造形大学造形学部の福本さんの基調講演の内容が書かれています。教授ということで内容が充実していて1回読むだけでは理解するのは非常に難しいですが、要するに実際に被害を受けた企業のインタビューから業助という概念はロータリーの活動の中核そのものと考え、自身もロータリーに在籍したことを踏まえて是非ともロータリアンの繋がりや取り組みを盛り上げてほしいと講演されています。

■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 本日、藤澤会長の代理を務めます。
コロナ禍の一日も早い終息を願っています。
- ◆多田浩之 本日は会長欠席につき、会長経験者 小川先生に会長談話をお願いしています。本日より一日会長代理を宜しくお願いします。
- ◆井上修 微熱36.3℃が2～3日続いています。神山医院さんに先程行ったら風邪の引き始めとか。念の為、今日は濃厚接触者にならぬよう皆さんに近づかず、端にいます。

■ 出席報告

会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者25名 事前メイク4名
出席率74.36% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告 多田浩之幹事

1. 今後の例会について
2. 創立記念例会・観桜会について
3. 本年度一般会計の繰越予想について
4. 次期役員理事及び委員会構成について
5. 3月の行事予定とメイクアップ扱いについて
6. その他

■ 次期委員会構成の発表



池上幸平会長エレクトより、次年度に向けての挨拶と委員会構成の発表が行われました。

■ 点 鐘

13:00

次回例会

- ・3月7日(日) 上伊那グループI.M. 点鐘/13:30 (Zoomにて)
- ・3月16日(火) 通常例会 卓話:伊那市社会福祉協議会 矢澤様・伊藤様